

## 学生の学修状況調査の集計結果について

2019年度、2020年度と同様、本学（武蔵丘短期大学）学生の学修状況等を把握し、教育の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的として、「平均的な1週間の行動パターン」について、調査を実施した。対象は、共通基幹科目の「健康の心理学」（1年生）及び「健康管理論」（2年生）の履修者とし、時期は2021年7月上旬の授業時間内に、健康教育・時間管理指導の一環も兼ねて行った。

有効回答数は、1年生が105名、2年生が44名であった。したがって、全学生（1年生140名、2年生159名（留年・休学者除く））に対する回答率は、1年生が75.0%、2年生が27.7%となる。

この調査から、「1週間あたりの授業時間」「1週間あたりの授業外学習時間」「1週間あたりのアルバイト時間」「1日あたりの睡眠時間」「1日あたりのスマホ等使用（インターネット・SNS・You tubeなど）時間」について、集計した結果は次の通りである。

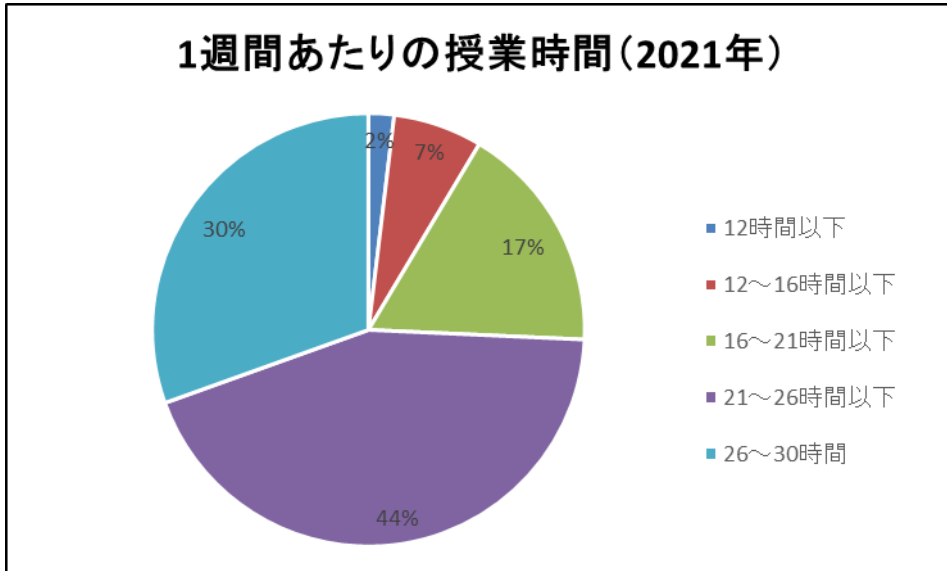
「1週間あたりの授業時間」については、1年生は「21～26時間」が44%、「26～30時間」が30%と多く、昨年度より授業時間数は増加している。これは、新型コロナウイルスの感染予防対策で変更した時間割を通常に戻したためと考えられる。2年生は、「16～21時間」が最も多く、平均的な履修時間が多くなっている。また、「1週間あたりの授業外学習」について、1年生は、「1時間未満」が32%、「1～2時間台」が26%、「3～5時間台」が28%と、絶対的な時間数が少ない現状があり、学習習慣に課題があることがわかる。2年生についても、全体的には時間数が少ないが、「6～10時間台」が23%と、ある程度学習習慣が身につけている学生もいることがわかる。「アルバイト時間」については、2年生でアルバイトを行う学生の割合が増加しているが、コロナ禍で時間数は制限していた（制限されていた）状況が伺える。

「1日あたりの睡眠時間」については、1年生では「5～6時間未満」が38%で最も多く、2年生では「6～7時間」が38%と最も多いという結果になった。これは、スマホ等の使用時間が長くなっていることが影響している可能性が高い。「1日あたりのスマホ等使用時間」について、「6時間以上」が、2年生で5%であったのに対し、1年生では16%という高い結果であった。このスマホ等使用については、生活習慣の乱れや睡眠不足などを招く恐れがある一方で、教育・文化・スポーツ等の情報や就職・進路情報など、学生のキャリア形成にとって役立つ内容も充実しており、自己管理・時間管理のもとに有効に活用していくことを期待したい。

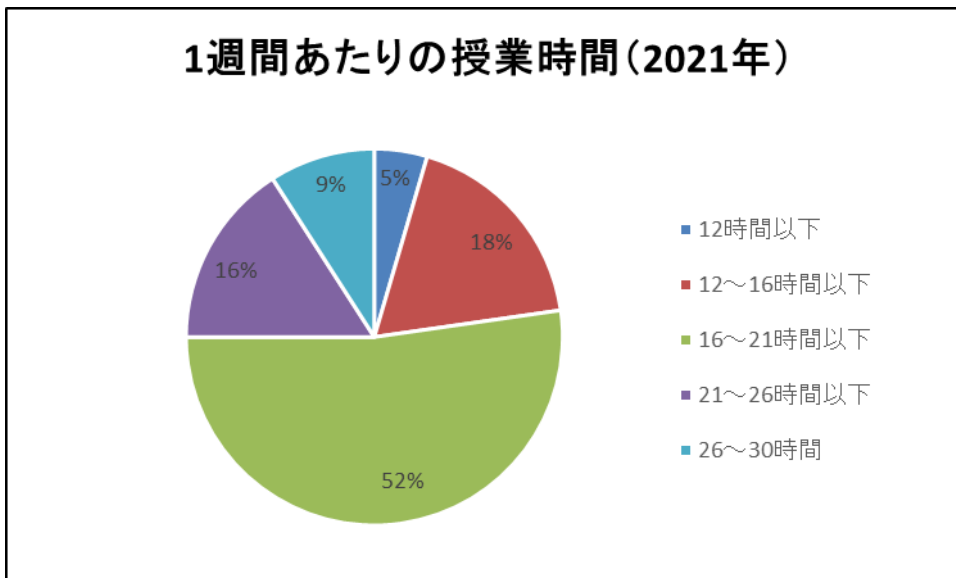
（文責・高橋勇一）

【1週間あたりの授業時間】

1年生

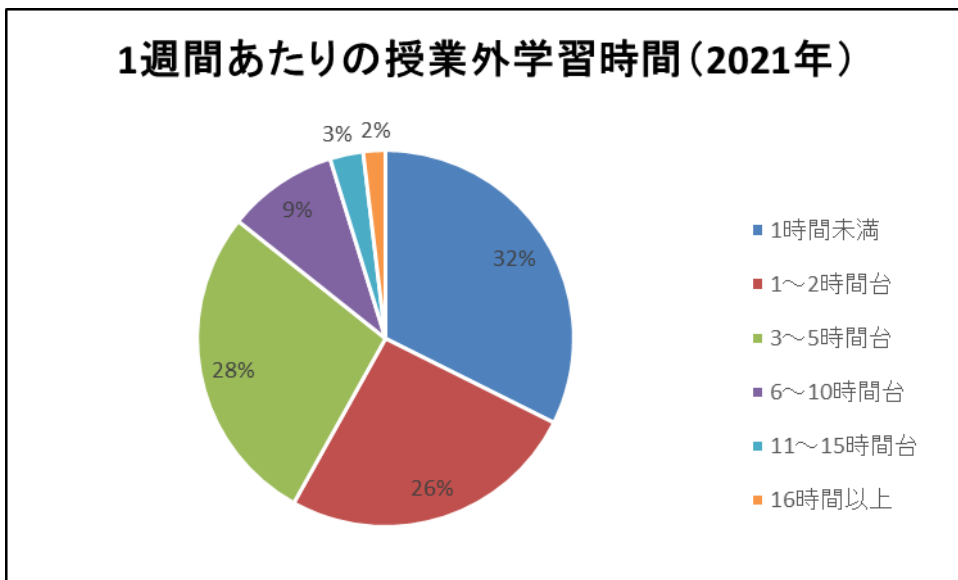


2年生

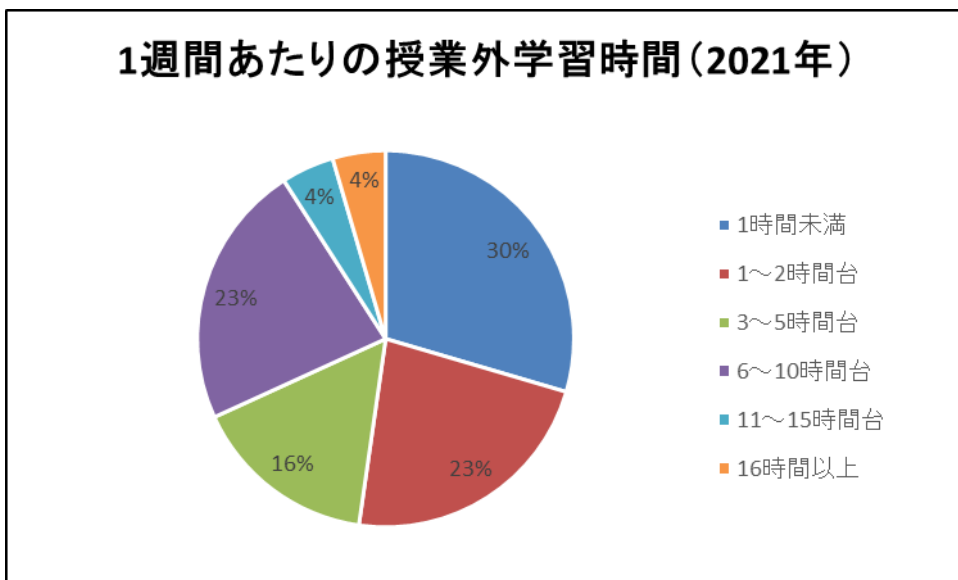


【1週間あたりの授業外学習時間】

1年生

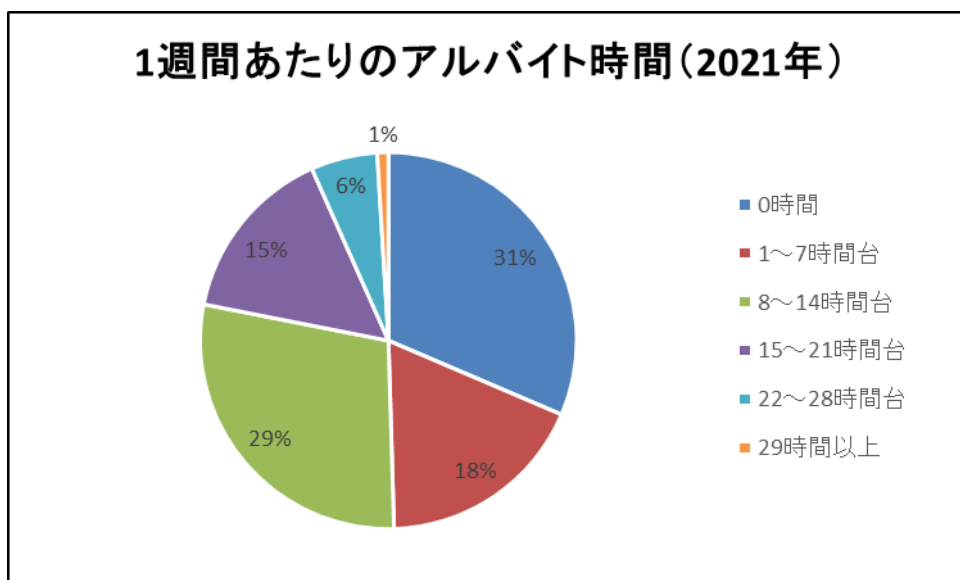


2年生

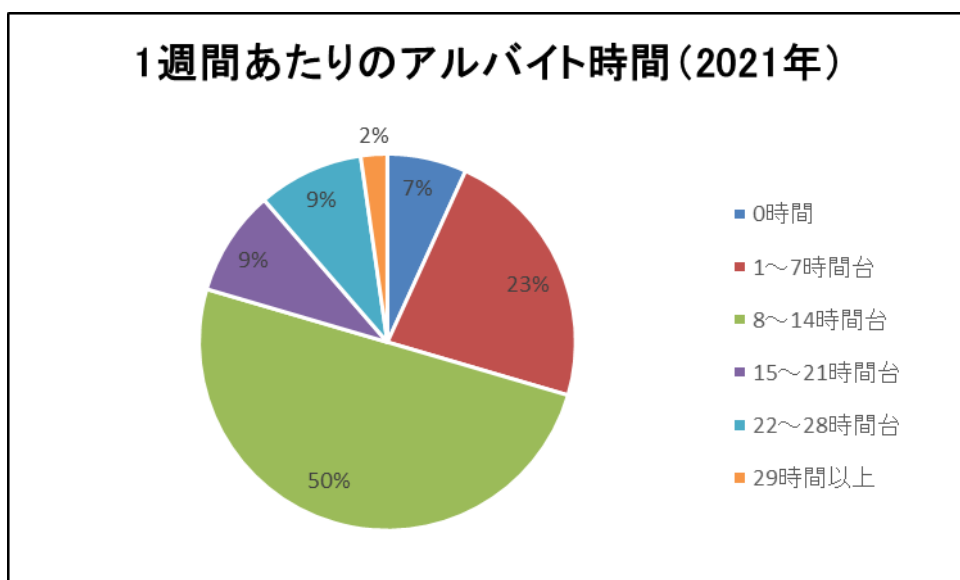


## 【1週間あたりのアルバイト時間】

1年生

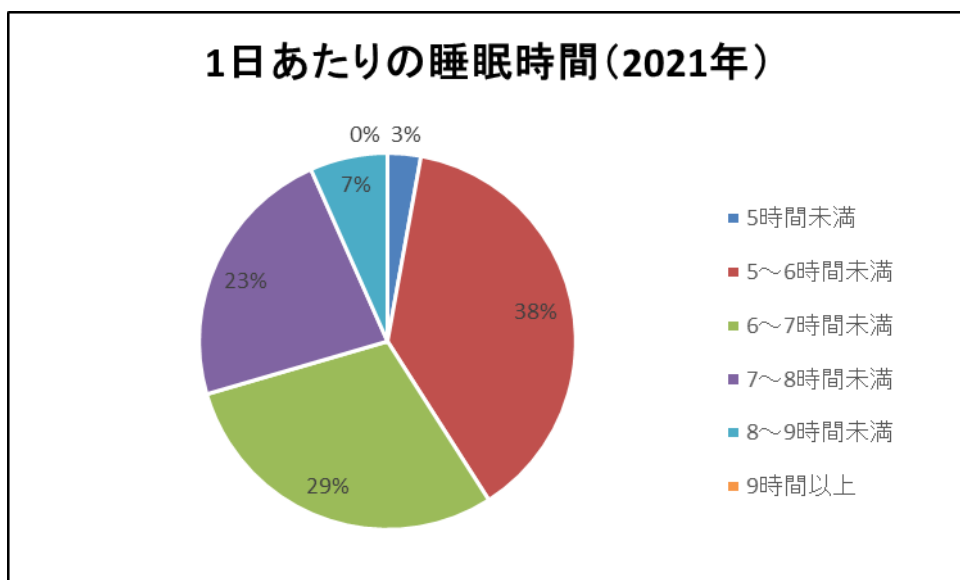


2年生

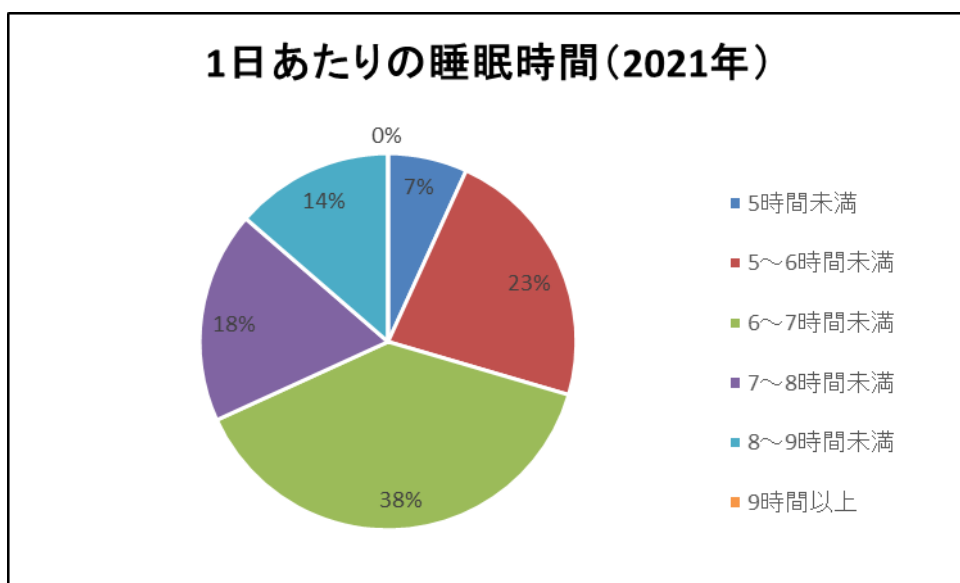


## 【1日あたりの睡眠時間】

1年生

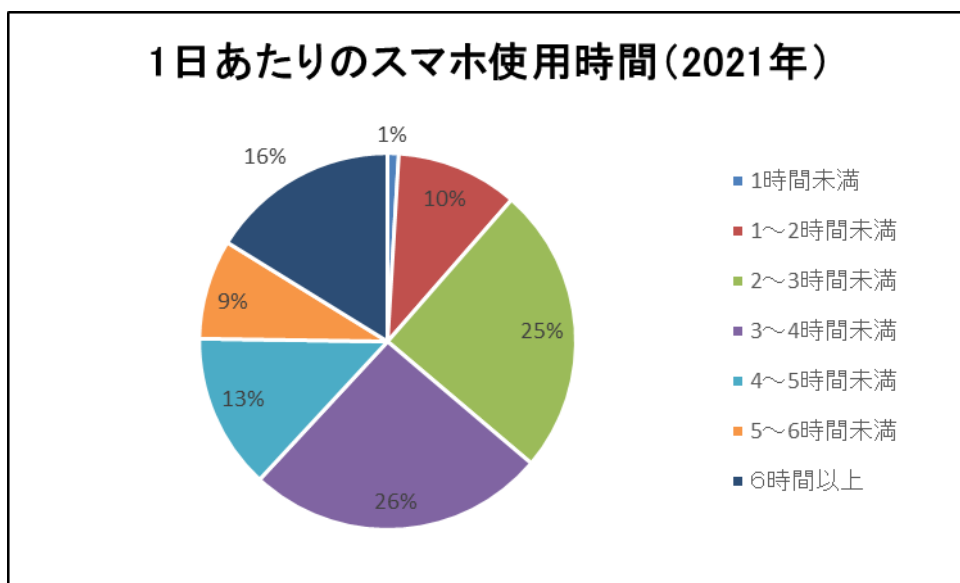


2年生



【1日あたりのスマホ等使用（インターネット・SNS・You tube 含む）時間】

1年生



2年生

